

欧州の政治・経済・金融情勢の展望

みずほ銀行チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌大輔から
かま
だい
すけ

- *ドイツ封じを目的に作られたEU
- *シユレーダー改革の恩恵に浴したメルケル
- *メルケル政権にあつた三つの追い風
- *メルケル以前のドイツの病態
- *シユレーダー改革の核心は何か
- *欧州債務危機が起きた原因
- *メルケルの政治生命を奪った難民危機
- *欧州大陸の3つの亀裂について
- *アフターメルケル時代をどう考えるか
- *こんなに違う日本とドイツ



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は3年ぶりになります。みずほ銀行チーフエコノミストの唐鎌さんにおいでいただきました。1980年のお生まれで、慶応義塾大学をご卒業後にジェットロに入れ、その後日本経済研究センター、それから欧州委員会に何年かおられて、現在はみずほ銀行に移られております。

欧州は政治だけではなく、経済、金融を含めてたいへん動きが激しくなっておりますので、そういった背景、これからの展望といったようなことで今日はお話をいただけたと思います。

それでは唐鎌さん、よろしくお願ひいたします。（拍手）

ドイツ封じを目的に作られたEU

唐鎌 ただいま紹介にあずかりましたみずほの唐鎌でございます。本日はお忙しい中、たくさんの方にお集まりいただきましてありがとうございます。

今ほどお話ししましたとおり、3年前にこちらで似たような題名でやらせていただいたかと思うんですが、その時はおそらくブルグジットとか、ECBの金融政策とか、そのあたりに着目した話をさせていただいたかなと思います。今日はもうちょっと具体的に話を絞って、この副題に書いていますけれども「アフターメルケル時代のEUはどこに向かうのか」と。ちょうど今週、ドイツの新政権がやっ